

個人投資家感謝DAY 「春のIR祭り2023」

会社説明資料

高島株式会社 証券コード8007

2023年3月11日（土）



高島の事業は？



会社概要

高島の業績・株主還元は？



会社業績及び株主還元策

高島の今後の成長性は？



次期中期経営計画 サステナV(バリュー)

1. 会社概要

商号	高島株式会社 Takashima & Co., LTD.
代表者	代表取締役社長 高島幸一
創業年月日	1915年10月1日（大正4年） 創業108年目
創立年月日	1931年12月1日（昭和6年）
事業内容	建材、産業資材、電子デバイスを取り扱う専門商社
資本金	38億127万円
連結売上高	74,054百万円（2022年3月期）
従業員数	連結891名、単体243名（2022年3月末時点）
決算期日	年1回 3月31日
上場市場	東京証券取引所プライム市場、証券コード：8007

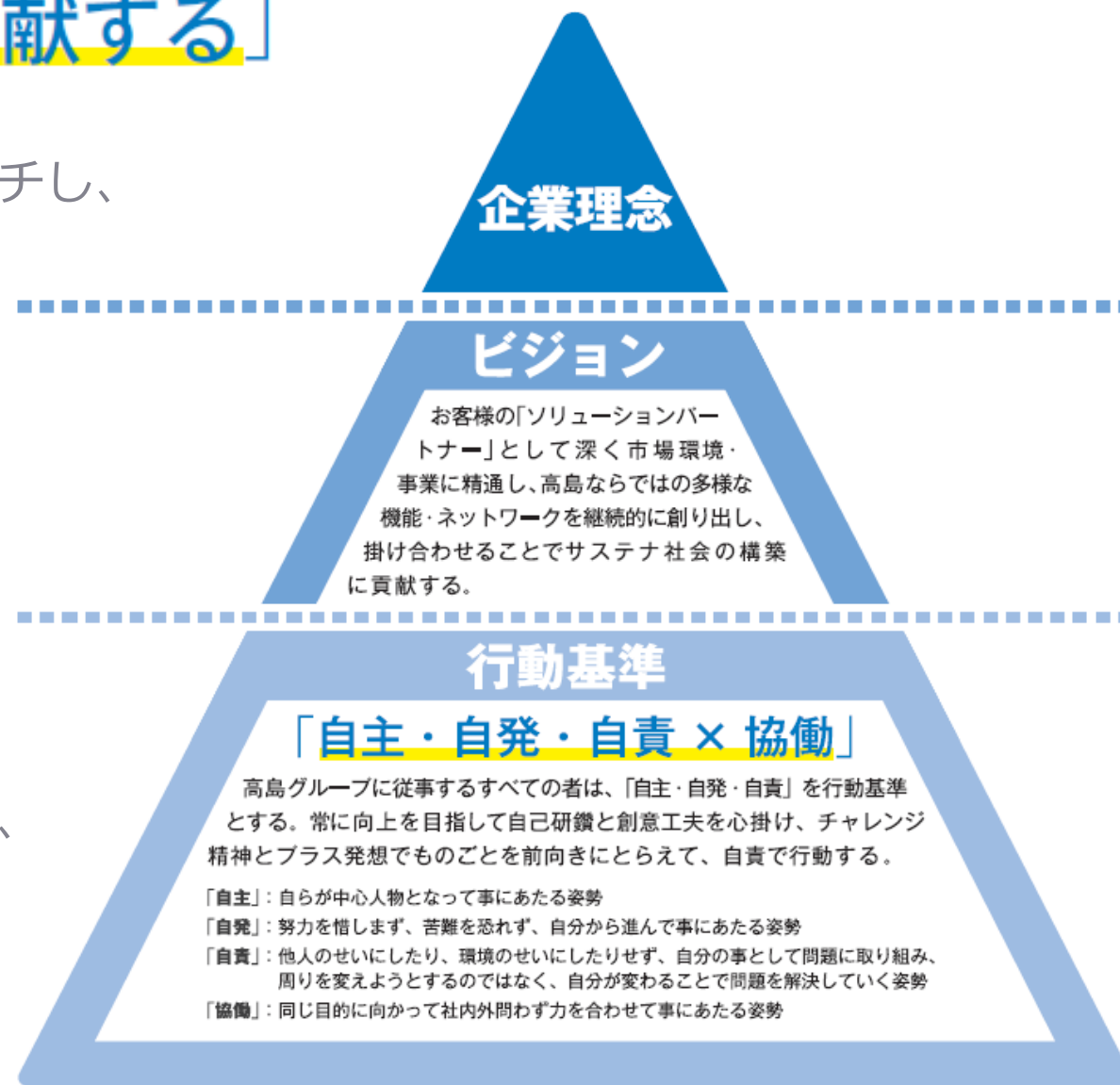


企業使命 「事業を通じて社会に貢献する」

高島グループは、オリジナルな発想を活かし、高島グループならではの方法で社会にアプローチし、積極的に世の中に役立っていきたい。そして、世の中に役立つことにより、その結果として高島グループも発展する・・・そんな企業グループでありたい。

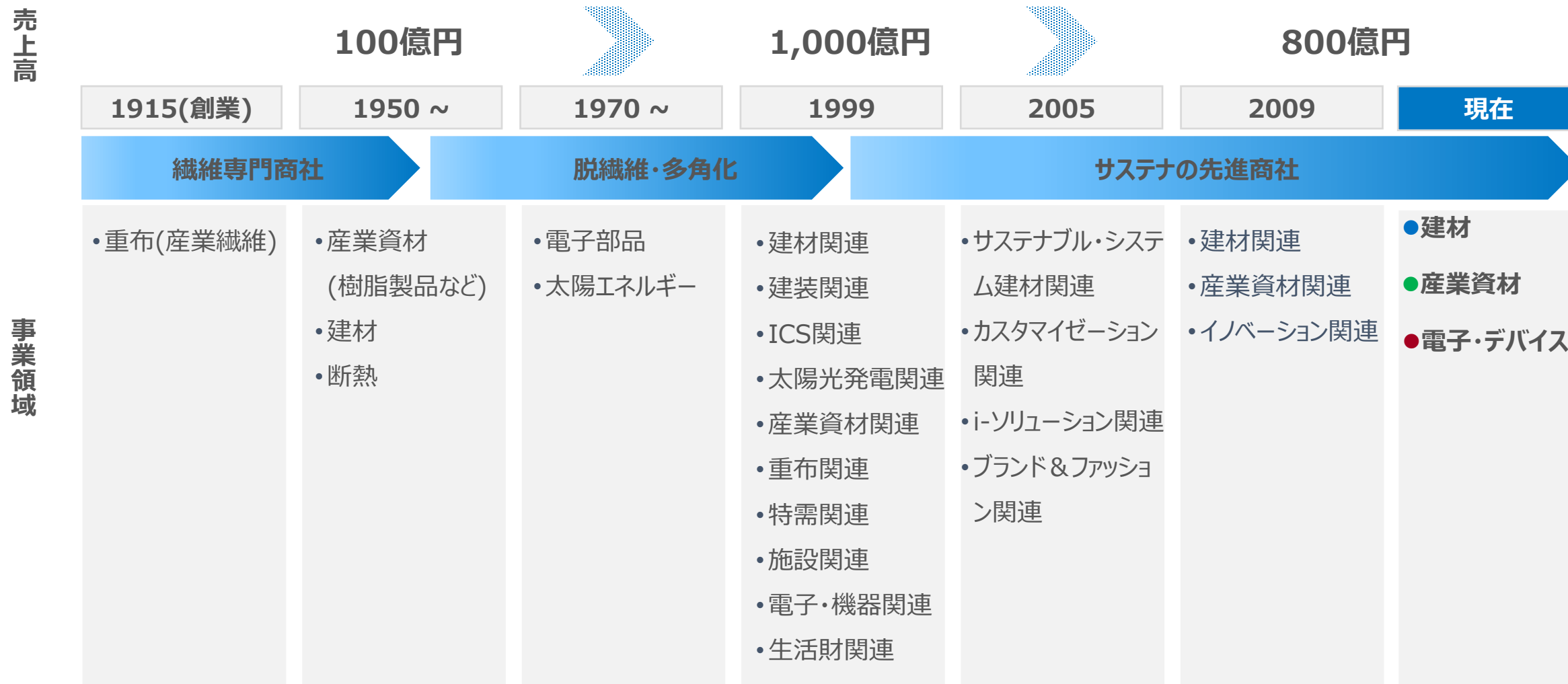
経営姿勢 「誠実一筋」

高島グループに従事するすべての者は、誠意をもって約束を守り、明るく素直で、また謙虚で、感謝の念を忘れず、法令遵守はもとより、規律を守り、正しいマナーを身につけることにより、信用と信頼を蓄積していく。



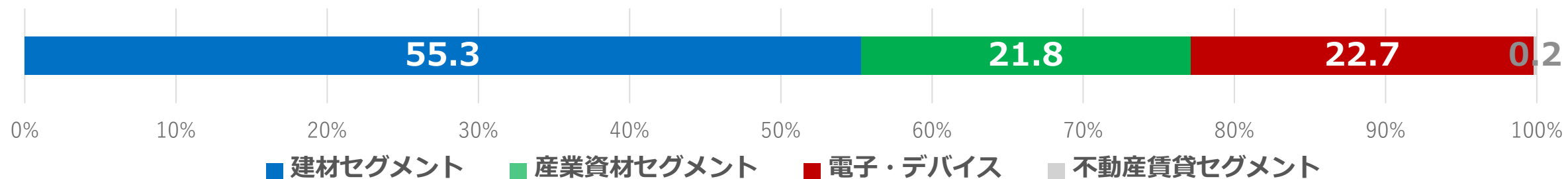
事業の変遷

当社の長年の歴史の積み重ねによる事業基盤や人財の多様性と、外部環境変化や内部環境危機に対応する力を活かし（進化X適合）、更なる成長を目指しています



セグメント別売上高構成

2023年3月期 第3四半期 売上高 60,211百万円



建材セグメント

非住宅市場、住宅市場向けに壁材、基礎杭工法、断熱材、太陽光パネル関連資材、インテリアなど、建設・建装に関わる様々な商材を取り扱っています。販売ネットワークを全国に構築し、企画、設計から施工までの幅広い工程を請け負います。



産業資材セグメント

繊維資材、樹脂部材、機能資材など多種多様な商材を取り扱っています。当社とグループ会社は、設計・製造・加工・施工・販売において連携し、お客さまへ複合的な価値を提供しています。



電子・デバイスセグメント

お客さまのニーズを充足する電子部品を、アジアを中心としたメーカーより調達し供給する電子部品販売ビジネス、さらに、メーカーとして、それらの電子部品を搭載した基板実装（EMS）を行う製造受託ビジネスに大別されます。





自家消費型太陽光発電システムとは、
施設の屋根や、ソーラーカーポートに設置した太陽光発電パネルによって発電した電力を、
自社工場や店舗で使用(自家消費)する太陽光発電システム



EV部品向け物流資材の成型例



真空成形トレイ

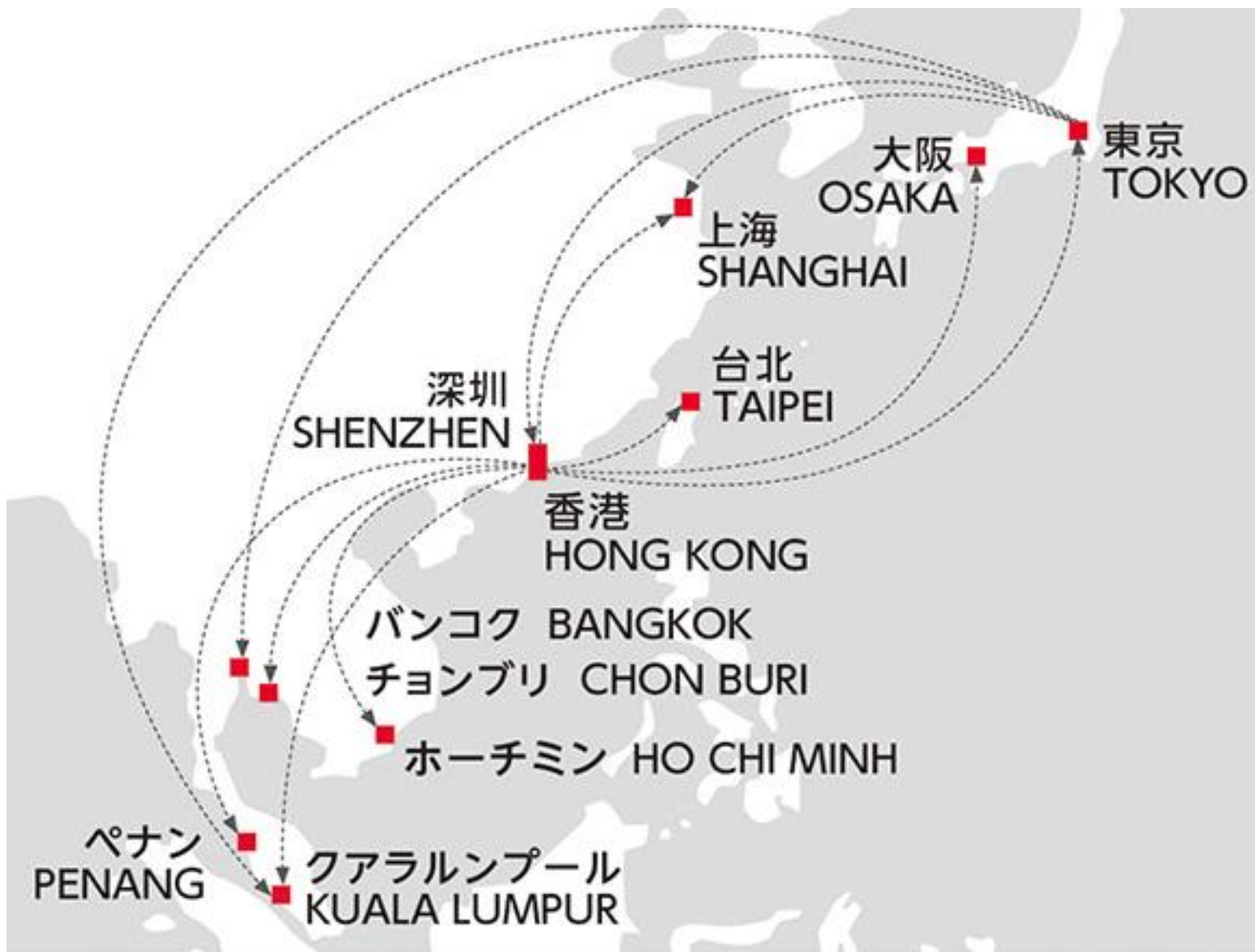


発泡成形トレイ

繊維資材



クラリーノ



高島グループ17社：高島、連結子会社14社、関連会社2社

iTak International (Shanghai) Limited
電子部品、電子機器他の販売

iTak (International) Limited
iTak iTak (International) Limited
電子部品、電子機器他の販売、
生産技術・品質管理支援

iTak International (Shenzhen) Limited
電子部品、電子機器他の
販売支援

iTak International (Thailand) Limited
電子部品、電子機器他の
製造及び販売

iTak International (Vietnam) Co., Ltd.
電子部品の製造及び販売

iTak International (Malaysia) Sdn. Bhd.
電子部品、電子機器他の
販売

**アイタックインターナショナル
ジャパン株式会社**
電子部品、電子機器他の販売、
生産技術・品質管理支援

新エネルギー流通システム株式会社
電気工事の設計・施工
オール電化製品や太陽光発電システムの
電気工事、太陽光発電システム販売

タクセル株式会社 TAKCEL
プラスチック成型品の製造・販売

株式会社信防エディックス SINBOU
環境衛生資材・防災用品等の卸売

シーエルエス株式会社 CLS
人工皮革・合成皮革などの各種資材、製品の販売

高島株式会社
●事業所
東京本社
大阪支店
名古屋支店
北海道営業所
東北営業所
中国営業所
四国営業所
九州営業所

ハイランド株式会社
縫製加工製品の開発・製造・販売、
膜構造の設計・加工及び
産業・医療用物流資材の販売

高島ロボットマーケティング株式会社
協働ロボットのレンタルと販売

HITエンジニアリング株式会社
住宅電気工事業、スマートハウス業

株式会社レスト Rest Corporation
トイレブースの製作・施工

株式会社動力
太陽光発電システム設置架台開発

- 建材
- 産業資材
- 電子・デバイス

サステナXの基本戦略

- サステナ社会（持続的発展が可能な社会）の構築に貢献するために、省エネ化、軽量化、省力化分野のソリューション提供に特化・集中し、専門機能を向上

《ダントツ化領域》

省エネ化ソリューション

創エネ・省エネ・蓄エネを関係させ、住まいや建物のエネルギーの有効活用をトータルに支援するソリューションを提供



軽量化ソリューション

社会環境やニーズの変化に対応するため、環境負荷を減らせるように軽量化した部材・資材をデザインから製造・加工・納品までの広いプロセスで提供



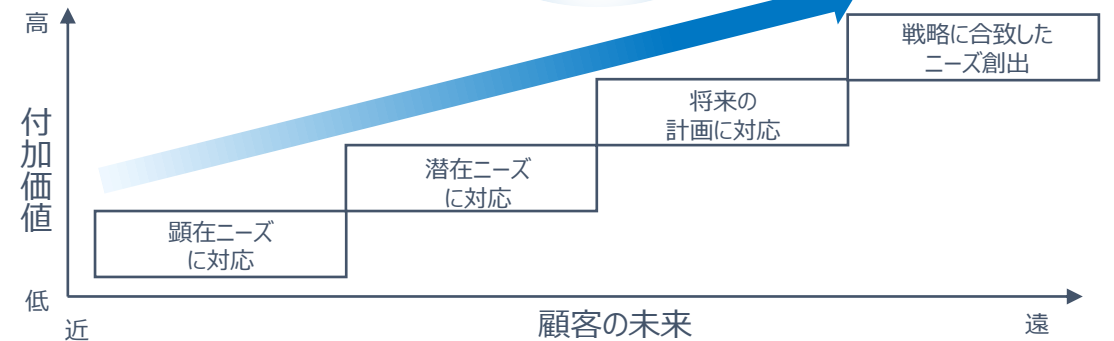
省力化ソリューション

「省力」の概念を加えた工法や、製造・加工など一手間加えたユニット化により、人口減少社会や効率化に対する需要に対応したソリューションを提供

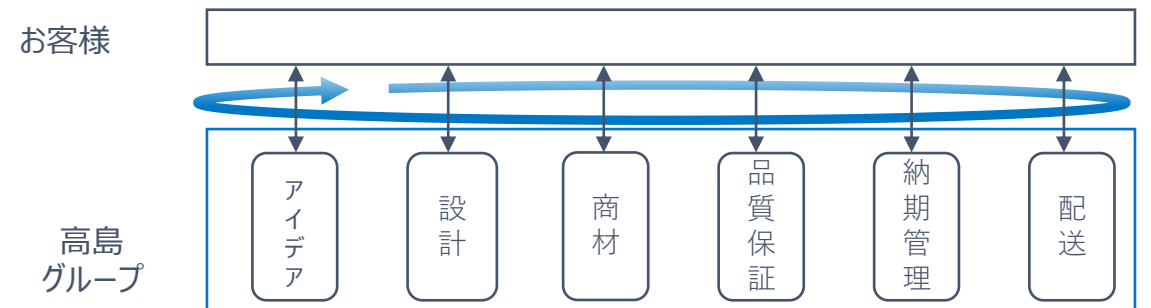


《専門性》

開発提案力



複合完結力



現在の市場環境認識

- エネルギーを取り巻く課題を背景に、各分野において再生エネルギーやゼロエミッション関連技術の普及が進んでいる

マクロ環境認識

エネルギーセキュリティ

- 世界エネルギー市場は益々拡大
- 燃料価格高騰
- 世界全域での地政学上の緊張関係の高まり

気候変動・カーボンニュートラルの潮流

- CO₂排出抑制
- 企業、政策、金融がCN実現に向けて変化

半導体・パワーエレクトロニクス

- IC中心に半導体市場は拡大、安定確保に課題
- エネルギーの利活用のためのパワーエレクトロニクス市場の拡大

現在起きている変化

再エネ、ゼロエミ技術の拡大

エネルギー分野

- 脱石炭、再エネ・原発拡大
- 電力消費データ活用による省エネ

運輸分野

- 電動化によるゼロエミエネルギー源の利用
- 素材軽量化、設計最適化

産業・ものづくり分野

- データ共有、ロボット・AI活用によるエネルギー消費量減少
- バイオ燃料等への燃料転換

民生分野

- 住宅・事業所の熱の使われ方が変化
- 電費効率の優れた機器の使用
- ZEB、ZEHの進化・普及によりエネルギー消費抑制

2. 会社業績及び株主還元策

連結業績 P/L

- ✓ 売上高は、電子・デバイスセグメントの好調や建材セグメントの前年同期比プラスにより増収。
- ✓ 利益は、業績拡大に向けた営業活動の増加、システム投資の増加、M&A実施に付随する費用の発生により販売費及び一般管理費が増加し減益

(単位：百万円)

科目	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減額	前年同期比
売上高	56,512	60,211	+3,699	6.5%
営業利益	1,255	983	△271	△21.6%
営業利益率	2.2%	1.6%	-	△ 0.6pts
経常利益	1,458	1,098	△359	△24.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,040	799	△240	△23.1%

2023年3月期 連結業績予想

売上高は前期比10.7%増加の820億円
 当期純利益は14億円を見込む

(単位：百万円)

	2022年3月期		2023年3月期 予想		前期比	
	額	売上高比	額	売上高比	増減額	増減率
売上高	74,054	-	82,000	-	+7,945	+10.7%
営業利益	1,547	2.1%	1,800	2.2%	+252	+16.3%
経常利益	1,840	2.5%	1,900	2.3%	+59	+3.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,296	1.8%	1,400	1.7%	+103	+8.0%

基本方針

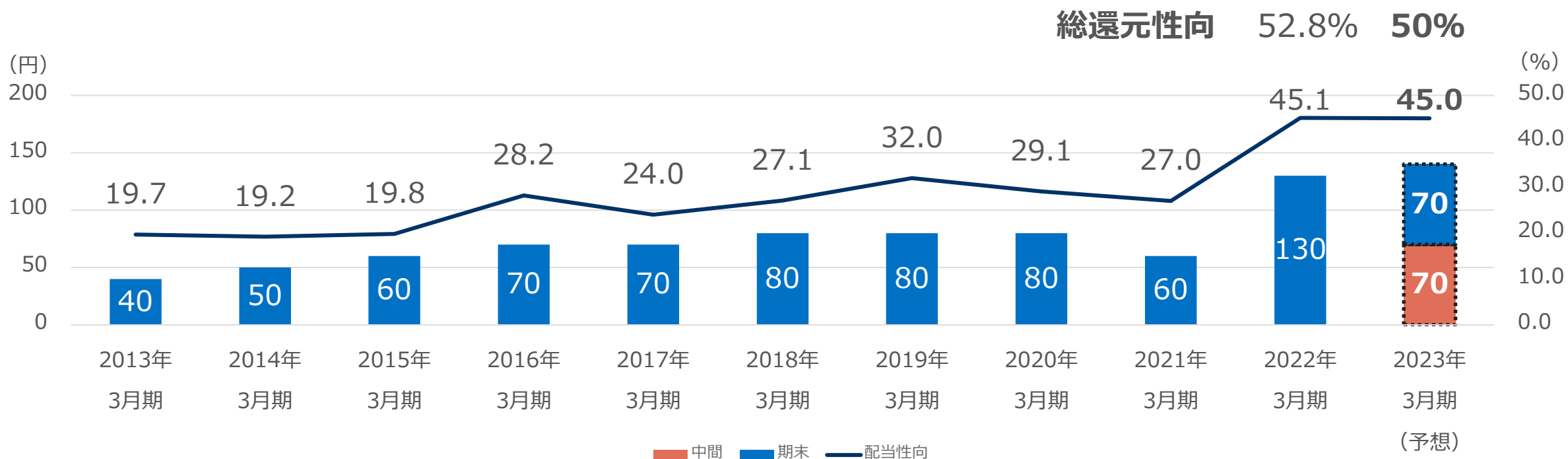
連結配当性向**40%以上** 総還元性向**50%**

総還元額の下限は5億円

2023年
3月期

配当は**140円**（中間**70円**、期末**70円**）を予想

前期比 **10円** 増配



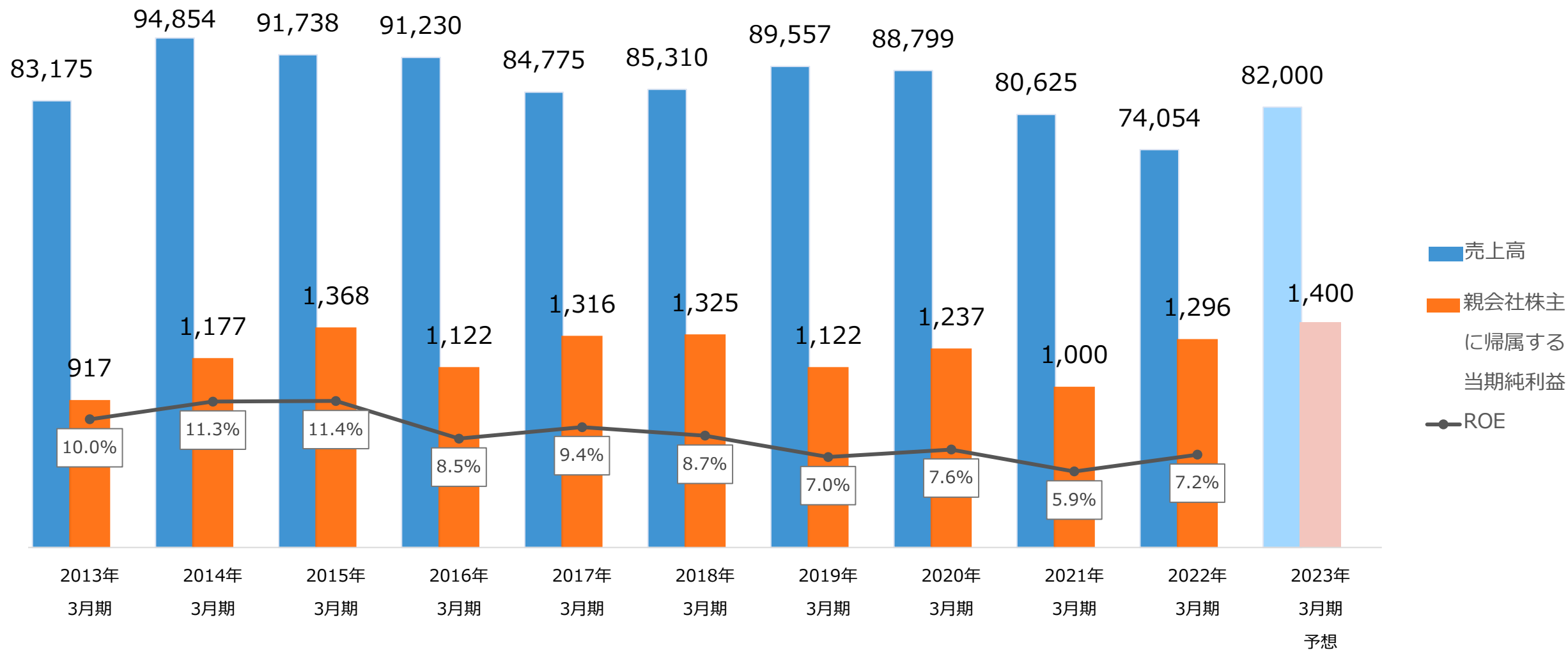
※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施。2016年度以前の1株当たり配当額は、株式併合後の金額で表示

3. 次期中期経営計画 サステナV (バリュー) (2024年3月期-2026年3月期)

堅実経営から持続的成長企業への転換

売上高・当期純利益・ROEの推移

(単位：百万円)



現中期経営計画サステナX (クロス) 及び適合計画書の進捗状況



- 次期中期経営計画最終年度（2026年3月期）時点での経営指標ならびにプライム市場上場維持基準に対して、適合計画は着実に進捗

サステナX

適合計画書

経営指標	サステナX			2026年3月期
	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	
当期純利益	10.00億円	12.96億円	14億円 業績予想	15億円
ROE	5.9%	7.2%		8.0%
ROIC	5.1%	5.2%		6.0%
総還元性向	27.1%	52.8%	50% 還元方針	50%

上場維持基準	サステナX			2026年3月末
	2021年6月末	2022年3月末	2022年12月末	
流通株式数	27,185単位	27,058単位		2万単位以上
流通株式時価総額	47.9億円	63.4億円		100億円以上
流通株式比率	59.7%	60.1%		35%以上
売買代金	683万円	3,855万円	3,332万円	2千万円以上/日

経営指標

上場維持基準

中期経営計画サステナV (バリュー)

目指す姿

次期中期経営計画 サステナVは「カーボンニュートラル社会の実現（2050）」に向けて変化する、市場の成長機会を捉えた戦略組み立て（価値創造）により、サステナ社会への適応と持続的成長を同時実現する



基本方針

- 利益成長×資本生産性向上を実現し企業価値を向上

企業価値の向上

利益成長

収益性の
向上

- 市場の成長機会を捉えて、複合的な価値提供による戦略を追求、中長期スパンで利益率を段階的に向上

トップライン
の成長

- 中期のスパンで高い利益を獲得する分野へ経営リソースを集中的に投下し、利益基盤を底上げ

人財投資

- 戦略領域への投資を加速、事業（売上高）を成長

事業投資・
設備投資

- 中長期人財マネジメント戦略の策定・実行

- グループ人的資本の可視化

- 経営人財（キャリア型人財）、グローバル人財、営業人財、高度専門人財の採用・人財開発策

- エンゲージメント向上策

株主還元

- 成長投資への資本配分：投資枠を100億円超へ拡大

- 総資産回転率、財務レバレッジ（有利子負債活用）などの資本効率を意識し、積極的な投資を実行

- 資本効率性を意識した株主還元方針（総還元性向50%）

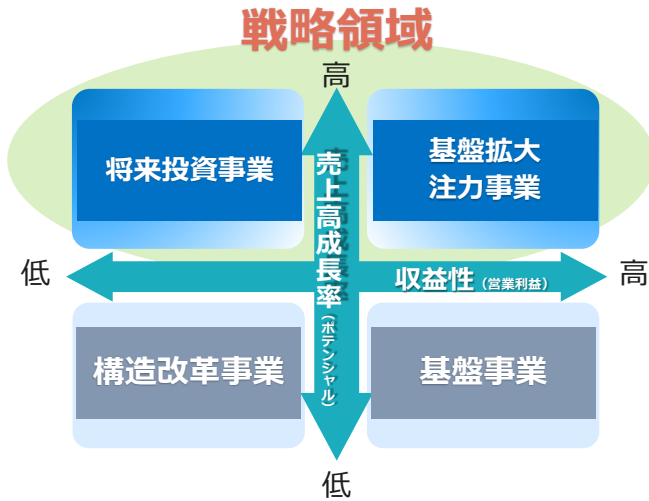
- 機関投資家との対話関係づくりや各種IRツールを通じた情報発信強化注力

中期経営計画サステナV (バリュー)

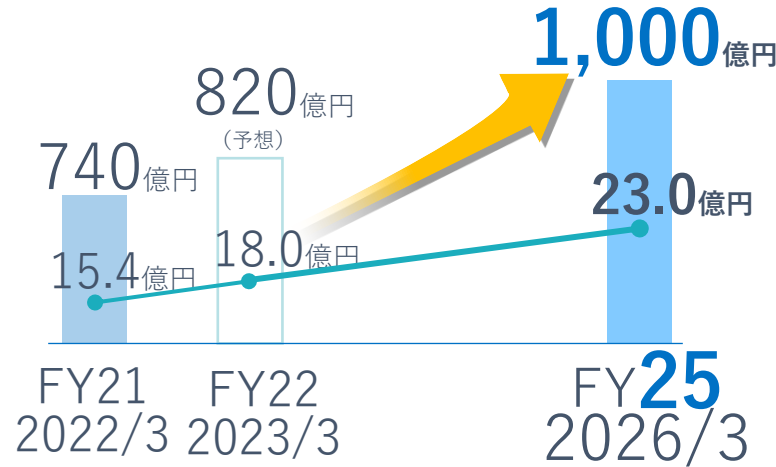
経営指標・財務方針

- 中期経営計画最終年度（2026年3月期）の当期純利益 17 億円達成を目指し、成長を重視した経営指標・財務方針を設定

成長投資



連結売上高・営業利益



経営指標

当期純利益 **17** 億円
(適合計画15億円)

ROE **8%**以上

ROIC **6%**以上

(計画期間 為替レート 1USD140円)

総還元性向 **50%**

成長投資枠

70億円 → **100億円超**

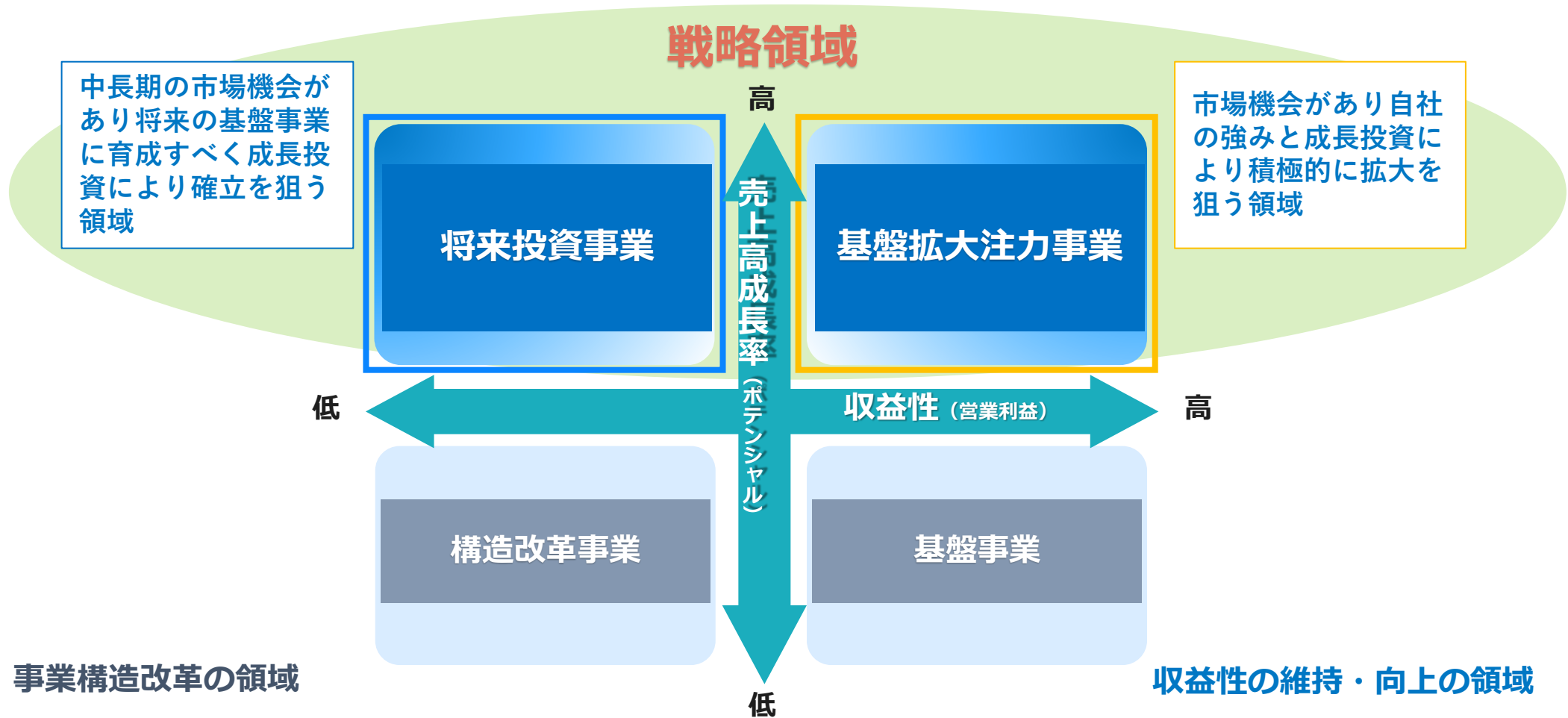
投資原資

営業CF + 外部資金 (有利子負債など) を積極活用 + 政策保有株式売却CF

建材	482億円	→	600億円
産業資材	194億円	→	200億円
電子・デバイス	142億円	→	200億円

戦略領域 (事業ポートフォリオマネジメント)

- 市場の成長機会を踏まえた成長性と付加価値を提供していくことによる収益性の向上を目論み、売上高成長率 (ポテンシャル) ×収益性 (営業利益) による戦略領域を設定



中期経営計画サステナV (バリュー)

成長戦略 建材セグメント

セグメント売上高

FY22 計画

482億円



FY25 計画

600億円

基盤拡大注力事業

非住宅 大型物流倉庫 等

耐火・断熱・耐震等の
機能建材、施工現場の
省力工法の拡大



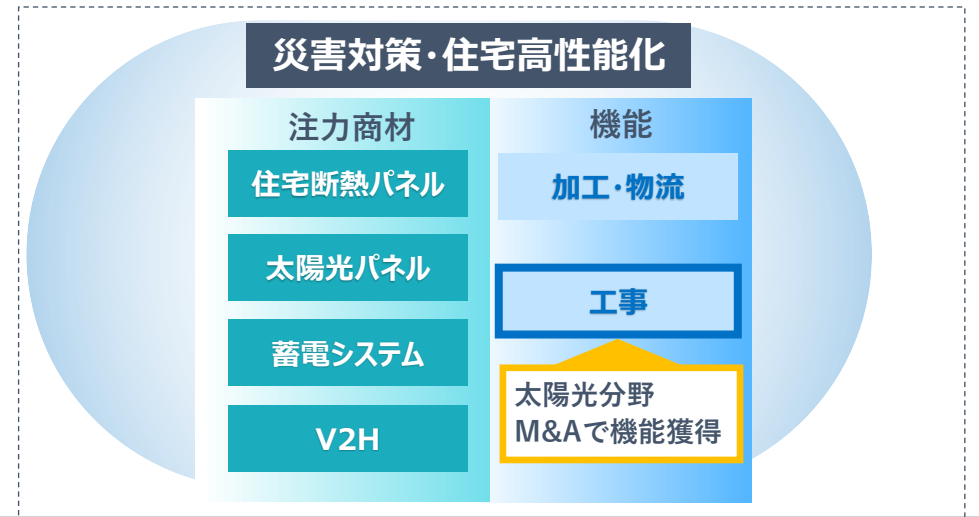
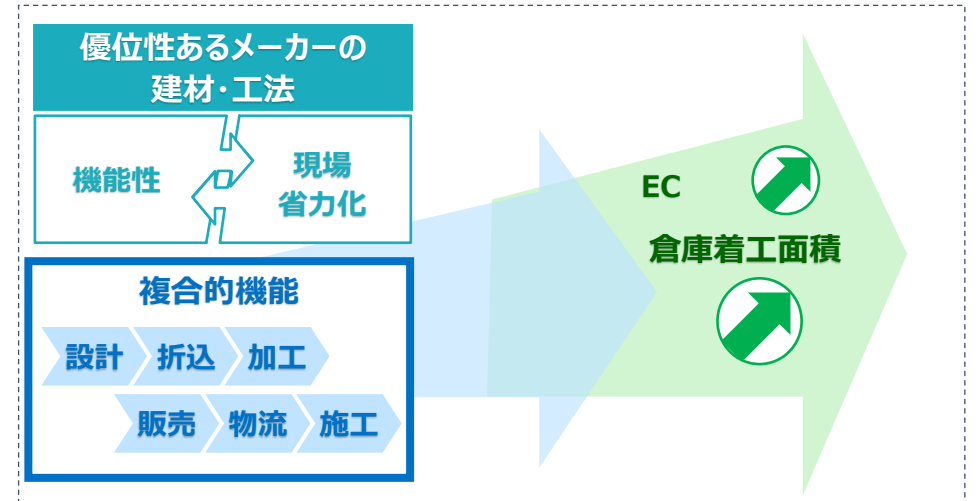
EC市場成長を背景に拡大する
大型物流倉庫等の需要取り込み

住宅 災害対策・住宅高性能化

太陽光創蓄システム、
住宅断熱パネルの拡大



災害時の停電対策や
ZEH需要取り込み



中期経営計画サステナV (バリュー)

成長戦略 建材セグメント

セグメント売上高

FY22 計画

482億円



FY25 計画

600億円

将来投資事業

非住宅 自家消費型太陽光発電

FIT事業売電
産業用太陽光パネル販売



自家消費
BCP対策や電力コスト抑制
需要取り込み

展開シナリオ

当社建設工事

太陽光工事

提携先チャネル活用

太陽光工事

産業

工場・事業所

自治体

住宅 EV関連商材

V2Hシステム販売
・新規販路の開拓



EV関連商材の販売・工事拡大
(V2H、ソーラーカーポート等)

展開シナリオ

太陽光パネル

EV関連商材

提携先チャネル活用

全国工事機能

住宅

中期経営計画サステナV (バリュー)

成長戦略 産業資材セグメント

セグメント売上高

FY22 計画
194億円



FY25 計画
200億円

基盤拡大注力事業

自動車 EV関連物流資材

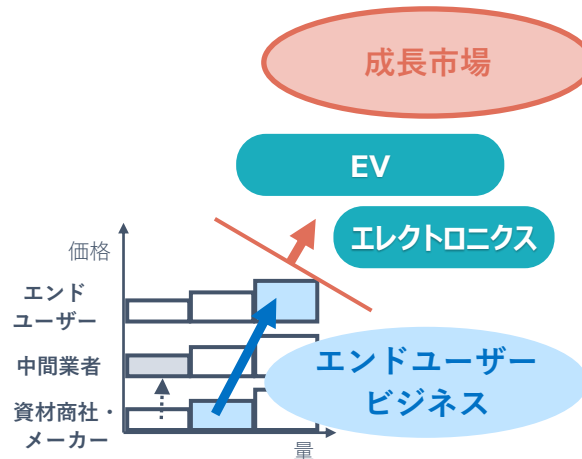
中日本営業拠点等を通じたEV関連物流資材の販売拡大



加工機能、設計機能を武器とした
エンドユーザービジネスの拡大



加工拠点への設備投資、M&Aにより、
拡大するEV関連物流資材の需要へ対応



繊維・樹脂加工品

機能産業資材 (耐火、災害・防災、物流、医療関連)

繊維・樹脂領域のメーカー化推進
(メーカー系グループ会社の成長、機能活用)



自社製品のシェア拡大と新製品開発
(高利益率製品割合の拡大)

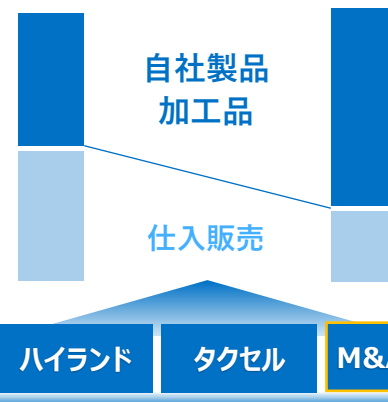


市場プレゼンスのある領域周辺での製販拡大 (耐火、物流、医療など)



M&A (防災関連) のシナジー創出

加工・設計機能強化



中期経営計画サステナV (バリュー)

成長戦略 電子・デバイスセグメント

セグメント売上高

FY22 計画

142億円



FY25 計画

200億円

(計画期間 為替レート)
1USD140円

基盤拡大注力事業

デバイス販売 省エネ対応のデバイスをグローバルに供給

価格競争力のある海外
電子部品メーカーの取り
扱い拡大、グローバル市場
への販売拡大

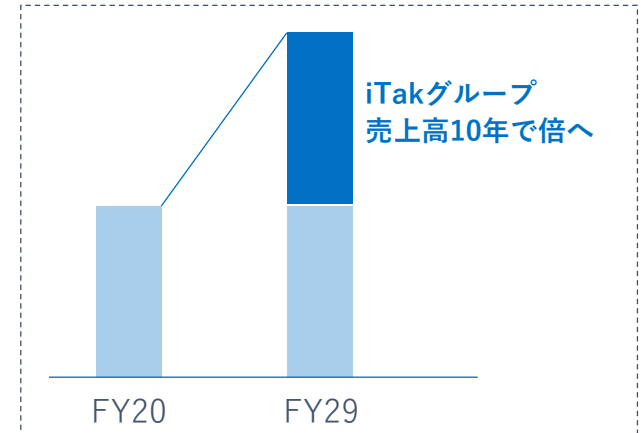


長期



拠点連携の面展開営業を強みとして、
民生機器分野へグローバルに展開

車載機器、産業機器の商圏獲得



将来投資事業

自社生産

ASEAN (タイ、ベトナム) 生産にて
白物家電等の省エネ・インバーター化に貢献

自社工場
タイ工場、ベトナム工場での
基板実装・デバイス生産



タイ工場、ベトナム工場への投資
拡大で生産体制を強化し売上拡大

最新設備の導入と高度な技術の確立

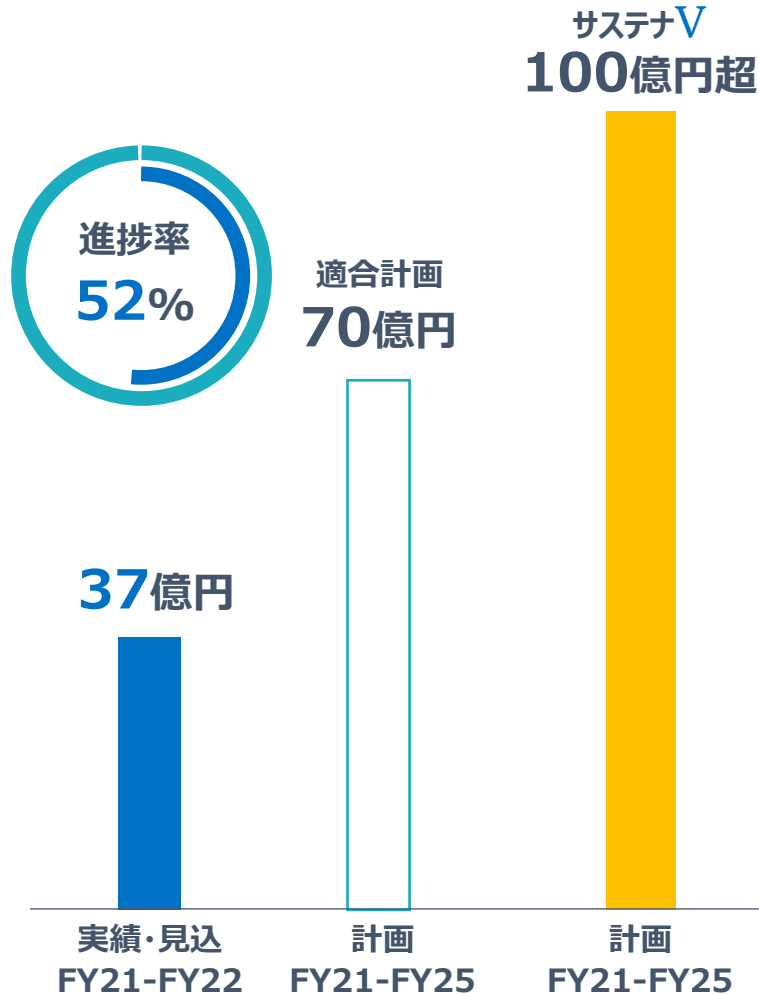
国内外の7事業会社、自社2工場を含む、
全11拠点体制でチャイナ+1に対応



中期経営計画サステナV (バリュー)

投資戦略

- 適合計画で定めた戦略的投資枠の進捗状況を鑑み、投資枠を計100億円超へ拡大し、戦略領域における投資や人財投資を実行



	実績・見込 FY21-FY22	計画 FY23-FY25
M&A	20億円 2件のM&A/ M&A検討コスト	30億円以上 新規M&A/事業開発
工場・設備	7億円 自社工場及び設備の 維持更新・増強投資	25億円 自社工場及び設備の 維持更新・増強投資
人財	10億円 採用/エンゲージメントサーベイ など	10億円 中長期人財マネジメント戦略 策定・実行
IT他	基幹システム刷新 IR強化など	DX、IR強化など
	37億円	65億円以上
<p>→ 戦略的投資枠を計100億円超へ拡大</p>		

- 新エネルギー流通システム株式会社の株式取得による 子会社化のお知らせ

- 工事施工ネットワークを全国で構築している、
全国有数規模の再生エネルギー関連の工事施工会社



- 株式会社信防エディックスの株式取得による 子会社化に関するお知らせ

- 長野県を拠点に、避難所用の簡易型テントなどの
防災用品を扱い行政ニーズ対応力に強み



高島の事業は？



多角的専門商社

建材事業
産業資材
電子・デバイス

高島の業績・株主還元は？



2023年3月期 連結業績予想

連結売上高820億円 当期純利益14億円

総還元性向50%

高島の今後の成長性は？



中期経営計画 サステナV(バリュー)

2026年3月期 連結業績予想

連結売上高1000億円 当期純利益 17億円